

参与の就任にあたって



山崎 輝

このたび9月1日付で、一般社団法人海外鉄道技術協力協会の参与・企画部長を拝命いたしました山崎輝と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、前職の鉄道総合技術研究所において、主に鉄道分野の国際規格に関する業務に携わってまいりました。それ以前には、国土交通省において、鉄道分野の国際展開や海外への技術協力などに携わる機会を得ました。

こうした経験を通じて感じてきたことの一つは、我が国が優れた鉄道技術や多くの経験・知見を有していることと、それらを海外での事業につなげていくこととの間には、様々な取組が必要であるということです。国内の鉄道市場を取り巻く環境が変化する中、海外への展開の重要性はこれまで以上に高まっています。そのためには、個々の企業や組織における取組に加えて、海外事業を担う人材の裾野を広げ、企業や組織の枠を越えて人と人とがつながり、互いの知見や経験を活かしていくことが重要であると考えています。

当協会では現在、我が国の質の高い鉄道インフラの海外展開を推進するため、プロモーション事業、国内外の人材の育成・マッチング事業、二国間連携事業を三つの柱として事業を進めています。私自身も、これらのうちプロモーション事業、国内の海外鉄道インフラ展開を担う人材の育成、二国間連携事業などを担当することとなりました。

中でも、人材育成については、これまでも委員会委員として「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」の検討に参画してきました。本プログラムでは、海外展開や技術協力に必要な幅広い知識や大局的な思考の習得に加え、企業の枠を越えた受講者間のネットワーク形成も重視しています。着任早々の9月8日には、その一環として「InnoTrans 2026 事前勉強会」を開催しました。本年度は本プログラム構築の最終年度に当たり、11月からのプログラム実施に向けて着実に準備を進めるとともに、ケーススタディ研修など新たな内容も加えながら、来年度以降の事業化に向けた取組を進めてまいります。

鉄道の海外展開は、一つの企業、一つの組織だけで進められるものではありません。経営、技術、営業、国際業務など、それぞれの立場で海外展開に関わる人材が育ち、組織の内外でつながっていくことが、継続的な海外展開の力になるものと考えています。これまで様々な立場から鉄道の海外展開に関わってきた経験も活かしながら、企業と企業、人と人をつなぎ、それぞれが有する技術、経験、知見を海外での新たな機会につなげていくことに力を尽くしたいと考えております。

会員をはじめ関係する皆様のご意見をよく伺いながら、一つ一つの取組を着実に進めてまいりますので、皆様方のご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。